

郡中 進路だより

No.11 令和 4年 6月25日
大村市立郡中学校
チーム郡思いを力に!
文責:進路指導主事 増田弘実

外発的動機づけと内発的動機づけ

私たち大人は、子どもたちに対して「次のテストで〇〇点以上とったら※※してあげるよ」というようなことを言って発憤させようと思いがちです。また、勉強していない姿を見ると「勉強しなさい」という声をかけてしまいます。このようにして与えられた動機づけを「外発的動機づけ」といいます。

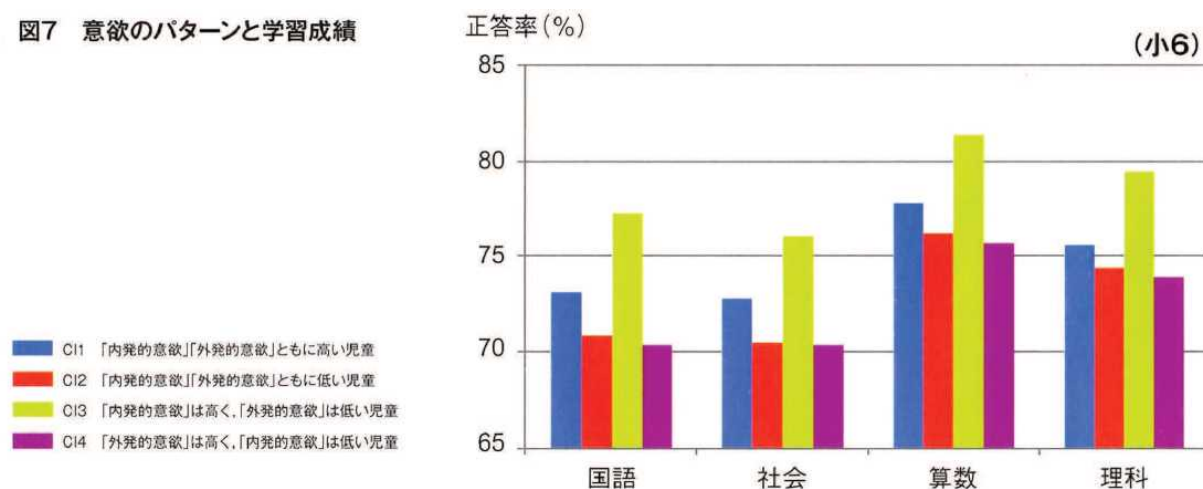
一方、子どもたち自身が「次のテストは頑張ってお〇点以上をとろう」と自分で自分を鼓舞して与えられた動機づけを「内発的動機づけ」といいます。次の4つのパターンの内、どれが学習成績が良いと考えられるでしょうか？

1. 親も一生懸命、子どもも一生懸命 (内発的、外発的ともに高い)
2. 親も子どもも、さほどではない (内発的、外発的ともに低い)
3. 親はさほどでもないが、子どもが一生懸命 (内発的が高く、外発的が低い)
4. 親は一生懸命、子どもはさほどでもない (内発的が低く、外発的が高い)

東北大学加齢医学研究所と仙台市教育委員会の2019年度「学習意欲の科学研究に関するプロジェクト」の研究調査では、小学校低学年では「夢や目標を持っている」、高学年以降では、「将来の可能性を広げるために勉強をがんばる」「夢を叶えるために勉強する」群の成績がよいことがわかりました。

反対に、同プロジェクトの「意欲のパターンと学習成績」の調査によると、「やらされていると強く感じている」群の成績が伸びないことがわかりました。これは「放任されている」群と比べても、成績がふるわない結果となりました。やらされ感(外発的動機付け)は、学力を伸ばすにはマイナスだということです。

図7 意欲のパターンと学習成績



「親はあまり手をかけず、子どもがやる気を持ってがんばる」ことが成績向上の秘訣だといえるようです。「馬を水辺に連れて行っても、水は飲まない」。「やらされ感」こそが残念ながら負の成果を生んでしまうようです。

夢をかなえるために必要な具体的な進路や知識、技能について話し合うことが大切です。家庭での十分な対話が子どもの「目標意識」「探究心」を育て、自ずと「内発的動機付け」を育むことになるのではないのでしょうか。

私も受験生の親として、自宅でしょっちゅう「勉強しなさい」と言っているのですが、少し言い方を変えてみようと思った次第です。

公立高校後期選抜での傾斜配点について

高校入試の合否の決定に際しては、1年から3年までの成績と学力試験の結果、面接などを総合的に判断して決められます。

公立高校の後期学力検査では、国語、英語、理科が1日目、社会、数学、面接が2日目に実施されます。教科の配点はそれぞれ100点で合計500点満点となっています。

一部の学校、学科では「傾斜配点」が行われています。近隣の学校では、諫早、西陵、大村(普通科と文理探究科)などが該当します。

調査書、学力検査、面接の割合や、傾斜配点の割合については、それぞれの学校によって異なり、県教育委員会のホームページや、各学校の募集要項で確認することができます。

令和5年度入試(後期試験)での傾斜配点実施校(近隣校のみ掲載)

学校	学科	調査書	学力検査	面接	傾斜配点				
					国	社	数	理	英
諫早	普通	2	7	1	150	100	150	100	150
西陵	普通	3	6	1	100	100	150	100	150
大村	普通	2	7	1	150	100	150	100	150
	文理探究科	2	7	1	150	100	150	100	200

例えば、次のような点数の2人がいたとします。

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
A君	66	74	60	70	70	340
B君	70	50	80	60	80	340

傾斜配点が行われない場合、この2人の間に、差はありません。ところが国語・数学・英語を1.5倍の傾斜配点で計算すると

	国語	社会	数学	理科	英語	合計
A君	99	74	90	70	105	438
B君	105	50	120	60	120	455

となり、A君とB君の間には17点もの差が開くことになります。

仮に同点の人がそれぞれ2人ずついたとしても、34人もの差がつくことになります。実際にはもっとたくさんの方がいるはずなので、この差が合否を決めることになる…かもしれません。

漢字を正しく使う。公式や条件は教科書にあるとおり、正しく書けるようにするなど減点のされにくい答案を書く習慣を身につけましょう。